

スター保険

代理店向けシステム「OneStarr」稼働

使い勝手の良さを追求

スター・インデムニティ・アンド・ライアビリティ・カンパニー（スター保険）日本支店は、10月9日から新たな代理店向けシステムを稼働させた。同社のメイン商品である業務災害包括補償保険を取り扱うもので、契約に関する一連の機能を備えている。旧システムからの刷新には、今後の新商品投入や機能拡充に向けた代理店向けの損害保険事務プラットフォームを構築する狙いもある。今回システム開発を担当したITオペレーションズシニアマネージャーの塚本英俊氏は「代理店向けシステムとしては業界内でも最後発となるが、その分研究を重ね、保険代理店にとっての使い勝手の良さを追求できたと自負している」と自信を見せる。

りとしたデザインと、直感的な操作性を「OneStarr」にも取り入れた」と考えたという。

実際の開発もスターのグローバルITチームと連携しながら進めてきた。スターのグローバルと共通のプラットフォームを標準として利用することで、システムのクイック・レスポンスを実現した。

アプリケーション開発については、日本ベンダーの株式会社B・P・Rの株式会社に依頼する

クイック・レスポンスに自信

新システムの名称は「OneStarr」（ワン・スター）。現状の主な機能としては、業務災害包括補償保険の保険料計算から、見積書作成、申込書作成、成約計上までをカバーしている。

開発のヒントとなったのは、グローバルに活動する保険会社グループであるスター・カンパニー（スター・インターナ

）に依頼した。グローバルITチームからは、グローバルカンパニーの開発ベンダーに依頼する

ことを勧められたが、日本の損害保険会社でのシステム開発経験が豊富な同社に依頼することで、早く、かつ、より効率的

に日本の保険事務に適した代理店向けシステムを構築できたという。塚本



OneStarr (画面イメージ)

氏は「経験豊富な日本のベンダーには仕様の行間を読む力がある。新システムには、グローバル企業ならではのIT技術と、日本の保険業務のノウハウを練り込んだ」と語る。

「OneStarr」のユーザーインターフェースは全体にシンプルな印象だ。できるだけキーボードを使わずに操作できるように、プルダウン形式の項目を数多く配置しており、入力箇所を最低限に抑えた。漏れやミスがあった場合には赤や黄色のマークと詳細なエラーコメントが出るようになって

金、遺族・復職支援金、ホールインワン・アルパトロス補償保険金の三つの特約を追加した。遺族・復職支援金については従来から提供していたが、これまで別に証券を発行していたものをこの機会に一つにまとめることとした。

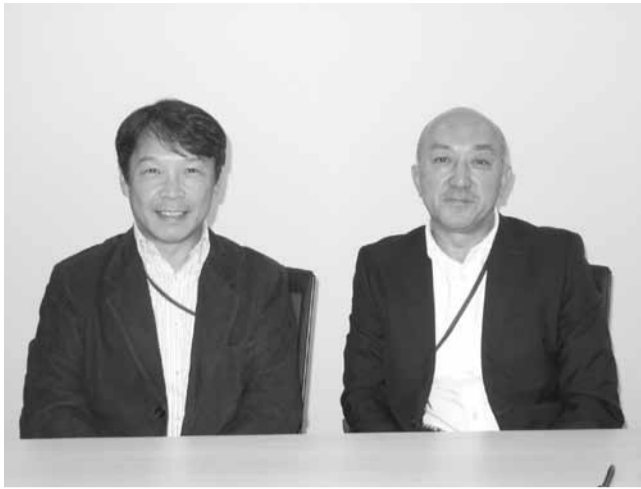
ホールインワン・アルパトロス補償保険金は、災害補償とは異なり、企業の福利厚生規定にゴルフのホールインワン、アルパトロスへの祝い金制度等を設定し、それを裏

支える補償で、同社ならではの特約となっている。保険証券についても、これまでA4サイズだったものをA3サイズの二つ折り形式に変更し、契約者により分かりやすい説明を加えた。他の商品の保険証券についても同一の規格でそろえていく考えだ。

傷害・医療業務部長を務める根本隆氏も「新システムは、ブラウザや利用機器を選ばず、インターネット環境があればどこでも使える点が魅力だ。サクサク画面が進むので、お客さまの前で使ってみよう」としている。

今後については、契約の変更・解約・満期に関する機能の追加を進め、傷害保険や他商品への展開を予定している。

塚本氏は「操作マニュアルに加えて操作方法を説明するデモビデオも作成し、『OneStarr』に格納した。今度も、ぜひ多くの代理店に『OneStarr』を活用してもらいたい」と期待を込める。



根本氏（左）と塚本氏